



○ 10冊のまとまりとばらをノートを描いて考える方法

②

- ・本の絵を描いて考えました。
- ・ひとまとまり10冊のかたまりが9つあります。ばらが6冊あります。
- ・これを3人で等しく分けると一人分は、ひとまとまり10冊のかたまりが3つ、ばらが2枚で合わせて32冊になります。
- ・答えは32冊です。



○ 96を90と6に位で分けて考える方法

③

- ・96を十の位と一の位で分けて考えました。
- ・96を90と6に分けて考えます。
- ・ $90 \div 3 = 30$, $6 \div 3 = 2$,
- ・ $30 + 2 = 32$ になります。
- ・答えは32冊です。

2 3人の考え方で同じところを検討する。

3人の考え方で共通するところはどこですか。



模擬貨幣での考え方も本での考え方も分けて考える考え方も、十の位と一の位に分けて考えています。



どれも、96を90と6に分けています。次に、 $90 \div 3$ をしています。そして $6 \div 3$ をしています。最後に $30 + 2$ をしています。

3 学習をまとめる。

わられる数の1の位が0でない二桁のわり算の計算をするときは、どのように考えればよいですか。算数の言葉を使ってまとめましょう。



わられる数の1の位が0でないわり算の計算は、10の位と1の位に分けて考えれば答えを求めることができます。

ま
と
め

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

- ① $63 \div 3$ ② $88 \div 4$

- どの考え方も、90と6に分けて考えれば、既習のわり算で答えを求めることができることに気付かせる。
色チョークで視覚的に分かりやすくするようにしていく。

- 適用問題は③の考え方で解かせる。63を60と3に位で分けて考えていることを個別に評価したい。